

平成21 年度 地域流通モデル構築支援事業  
(商店街活性化タイプ)  
モデル実証事業報告書

(事業名) 宇佐漁港一本釣りうるめイワシの消費拡大と高知  
海洋高校との協働による商店街活性化モデルの構築

(事業実施地区) 高知県土佐市宇佐地区

(事業申請者) 土佐市商工会宇佐支部

## 第1章 事業の目的、特徴

### 第1節 事業の目的

(地域（商店街）の問題点、課題)

- ・ 土佐市宇佐漁港はジョン万次郎が出港して遭難した漁港であり、土佐節（鯉節）発祥の地として名高い。近海はカツオの漁場となる黒潮が流れ、カツオの一本釣り漁が盛んに行われている。また近代漁法の発展で巻き網によるうるめイワシの大量漁獲が行われる中で、宇佐漁港はうるめイワシの一本釣りという伝統的漁法を残す高知県でも数少ない漁港である。
- ・ 水揚げされた魚介類は冷凍鮮魚のまま流通されることが多く、また宇佐地区に立地する水産加工業者等の加工原料として取引されるため、漁港周辺の商店街等での直売は行われてこなかった。特にイワシ（鰯）は“魚に弱い”と書くとおり、品質保持が難しい魚のため、周辺地域での消費拡大や販路確保ができないと漁師も水揚げしないとといった悪循環に陥り、近年漁港全体の漁獲量も減少してきている。また周辺漁港で行われているうるめイワシは網による大量漁獲で魚のかたちが崩れる難点があるため、飼料用として安く取引されているのも実情である。
- ・ 宇佐漁港で水揚げされる一本釣りうるめイワシは魚としてのかたちを保持しており、その特性を生かすべくブランド化推進、商品開発を目指し宇佐うるめプロジェクト協議会が平成21年7月に発足した。
- ・ 当協議会は漁師、水産加工業者、商工会議所青年部、同婦人部、料飲店等の参加を得て活動を開始し、鮮魚の地元居酒屋等への直送を開始した。しかしながら、鮮魚取引は前日予約を取っておきながらも漁獲量が安定せず、業務市場で信頼を勝ち得るまでいかないう傾向にあり、また台風等で海が荒れた場合には前日取った注文に答えられない等の問題がある。
- ・ また、商工会宇佐支部女性部はうるめイワシのてんぷらや練り物等の直売をイベント時に行い、人気商品として好評を博しているが、常時地域で販売できる場所を持っておらず地域の食として確立できない状況にある。
- ・ 宇佐うるめプロジェクト協議会は宇佐漁港に隣接して立地する高知海洋高校とのレトルトパック化等の商品化共同研究を始めたところである。高知海洋高校の水産加工品は高校生が外洋で漁獲してきた時期に集中して生産、商品化され高校内で販売されるが、大変な人気ですぐ売り切れてしまい、直売機能の充実が叫ばれてきた。今まで地域との連携も取れないでいるために、地元との連携・協働窓口の設置が課題である。
- ・ 今後、宇佐漁港におけるうるめイワシのブランド化推進のためには賞味期限の長いうるめイワシの商品開発を行うこと、鮮度保持技術を持った拠点を形成し速配、日配を特徴とした流通体制の確立を図ること、宇佐及び周辺地域での消費拡大を図ること、宇佐漁港の観光ポテンシャルを活用した直売体制を確立することが必要である。



(写真左)宇佐漁港



(写真右)うるめイワシ

(課題を踏まえた事業の目的)

- ・ 漁獲の安定を図るため、漁協に水揚げされたうるめイワシの三枚下し真空パック・冷凍技術を獲得し業務需要への安定供給を図ることや直売所の継続的運営による地元消費の拡大を図り、事業の確立を目指す。また、直売所から給食センターを窓口とした練り物配給による地元消費拡大を図る。
- ・ 好評を博している商工会宇佐支部婦人部のうるめイワシのてんぷらや練り物等の直売拠点を形成し、漁港に隣接する商店街活性化を目指す。
- ・ 宇佐漁港に隣接して立地する高知海洋高校の地元との連携・協働窓口として直売所を位置づけ、高知海洋高校と地元住民との交流を深めることを目指す。
- ・ 宇佐うるめプロジェクト協議会は賞味期限の長いうるめイワシ商品開発を推進し、鮮度保持技術を持った拠点形成に協力し、この直売所を起点にした速配・日配流通体制の確立を目指す。
- ・ 今年のNHK大河ドラマは「龍馬伝」であり、同時代を生き抜いたジョン万次郎を生んだ宇佐漁港はこのドラマの重要な舞台であり多くの観光客が訪れることが予想されている。イベント集客を積極的に行うなど宇佐漁港の観光ポテンシャルを活用した直売体制の確立を目指す。

(予定する事業効果)

- ・ 冷凍技術、真空パック化による賞味期限延長を図り、鮮魚商品の地元住民への消費拡大や給食等の業務需要への安定供給を図り、事業を確立する。(商店街での食料品店経営の維持)
- ・ 商工会宇佐支部女性部のうるめイワシのてんぷらや練り物等の名物化を図り、商店街の日常的な賑わいや固定客(固定来街者)を確保する。
- ・ 高知海洋高校の地元との連携・協働窓口を確保し、地域で学びあう環境を醸成する。
- ・ 宇佐うるめプロジェクト協議会の起業を支援し、法人化を促進する。
- ・ NHK大河ドラマ「龍馬伝」に起因する観光需要に対応できる観光客受け皿形成に寄与する。

## 第2節 事業の特徴

(取組み事業の特徴、地域活性化への寄与)

- ・ 宇佐漁港で水揚げされた魚介類を日常的に販売し、地産地消に貢献する。
- ・ 宇佐地区に立地する水産加工業者の加工品や干物などの日配品を販売し、高齢化する消費者の徒歩圏内ニーズに対応し地域活性化に寄与する。
- ・ 高知海洋高校の高校生が製造した水産加工品を販売し、また協働体制を確立することにより、地域住民との交流を促進し、地域活性化に寄与する。
- ・ 宇佐地区住民が地域内に集積する加工所で製造した練り物、酒盗、惣菜などの加工品を販売し、住民活動の活性化に寄与する。
- ・ 観光案内所として情報発信するとともに、観光プログラムの立案等による観光客受入に対応し、観光振興に寄与する。



(写真左)観光客によるかつおのたたき体験 (写真右)干物が人気

(ともに宇佐土曜市)

(事業の実施体制の特徴、生産・加工(調理)・販売の各体制の特筆点)

- 直売所起業と運営に詳しい齊藤俊幸氏をアドバイザーとして迎え、漁協、宇佐うるめプロジェクト協議会、土佐市商工会、高知海洋高校とのネットワーク化を図る。
- 商工会女性部による直売店舗の運営とうるめイワシ三枚下し真空冷凍パック化の製造作業を並行して行うとともに、宇佐うるめプロジェクト協議会が真空冷凍パック化商品の業者等を対象とした外部販売を担う。
- 高知海洋高校の食品加工設備は西日本随一と言われる。こうした設備を定期的に活用し、住民と高校生が共同研究した商品を生産する体制を構築する。また、高知海洋高校の学内活動情報を店内に展示するとともに高校生との宇佐地区での協働を積極的に受け入れる。
- 宇佐漁港で水揚げされたうるめイワシを毎週購入し、ミートソースとして活用する東京のイタリアンレストラン「エノテカノリーオ」(新宿区四谷三丁目)と高知海洋高校の協力を得てミートソースのレトルトパックを開発中である。開発した商品は直売所で販売するとともに今後も連携強化を図り更なるうるめイワシブランド化を推進する。
- ホールウオッチングなど宇佐で行われているイベント、催事、祭り等の観光情報を発信する観光情報ボードを設置し、宇佐観光マップを展示するとともに観光プログラムを充実し観光客受入を行う。

## 第2章 事業実施報告

### 第1節 企画検討会の開催報告

#### 1) 実施体制について

以下のメンバーで企画検討会を実施した。

表 2-1-1 実施体制

氏名	所属	役職
浜田和大	土佐市商工会宇佐支部	支部長
竹中治人	高知海洋高校	食品加工コース教諭
所紀光	宇佐うるめ協議会	会長
谷岡美佐	土佐市商工会宇佐支部女性部	部長
中澤雅章	土佐市商工会観光委員会	副委員長
吉永晃生	宇佐鯉節水産加工業協同組合	理事
浜田太蔵	土佐市商工会宇佐支部	事務長
斉藤俊幸	アドバイザー	イング総合計画(株)代表取締役
合田尚洋	土佐市役所産業経済課	課長補佐

#### 2) 企画検討会について

企画検討会は2月13日（土）現在4回実施されている。議事録は以下の通りである。

#### 第1回宇佐うるめイワシ直売所企画検討会

■日時；平成21年11月9日（月）午後1時～3時

■場所；宇佐くろしおセンター

■参加者；

氏名	所属	役職	出欠
浜田和大	土佐市商工会宇佐支部	支部長	○
竹中治人	高知海洋高校	食品加工コース教諭	×
所紀光	宇佐うるめ協議会	会長	○
谷岡美佐	土佐市商工会宇佐支部女性部	部長	○
中澤雅章	土佐市商工会観光委員会	副委員長	○
吉永晃生	宇佐鯉節水産加工業協同組合	理事	○
浜田太蔵	土佐市商工会宇佐支部	事務長	○
斉藤俊幸	アドバイザー	イング総合計画(株)代表取締役	○
合田尚洋	土佐市役所産業経済課	課長補佐	○
吉武祐一	事業事務局	ランドブレイン代表取締役	○

#### ■協議内容

- ・ 地域流通モデルの構築がテーマであり何が流通モデルとなりうるのか、メインターゲットは誰か、うるめイワシは通年でできる事業か、継続性はあるかが土佐市プロジ

ェクトを採択する前に問題となった。(吉武)

- ・ 地域住民に対する販売、観光客に対する鮮魚販売は限られている。現在、うるめイワシの3枚下し真空冷凍パック商品を土佐海洋高校と共同で開発している。また海のない内陸県に焦点を当てたメインターゲットの設定を試みようと考えている。群馬県館林市 JA 館林が運営するぼんぼことの物産交流を行う予定である。本事業の広報販促費を活用したい。(斉藤)
- ・ うるめイワシは通年を通して水揚げできる。一本釣りうるめイワシはおいしい食材であり、高級魚として取り扱われている。港であがったほかの鮮魚も販売する。(所)
- ・ 事業は今年度終了するが、来年度直売所の運営を継続する。2年間で事業の黒字化の目処をつけ自立を目指したい。(斉藤)
- ・ 鮮魚のみならず、水産加工品を製造し直売したい。(合田)
- ・ 事業者の目処は立っているか。(吉武)
- ・ 現在、土佐市商工会宇佐支部が事業申請者となっているが、商工会女性部が運営にあたり、宇佐うるめプロジェクト協議会の起業化を模索している。将来的には連携組織による法人化を目指すことが妥当ではないかと考えている。(谷岡、所、斉藤)
- ・ 地域のコミュニティとして成立するよう努力して欲しい。大きなテントを直売所につけそこで売れ残った魚を焼き、酒を飲むとかできるのではないか。店頭の道路舗装整備を市に要請したらどうか。(吉武)
- ・ トイレは助成対象外、エアコンはリースに分類。店舗什器はステンレス製としリース扱いとする。(吉武)
- ・ 広報販促費を伸ばし、群馬県館林市との新たな流通づくりに活用する。(吉武)
- ・ 週末までに設計を確定し、見積りを書き直しファックスでよいので吉武宛に送る。(吉武)

## 第2回宇佐うるめイワシ直売所企画検討会

■日時；平成21年11月17日(火)午後18時～20時

■場所；宇佐くろしおセンター

■参加者；

氏名	所属	役職	出欠
浜田和大	土佐市商工会宇佐支部	支部長	○
竹中治人	高知海洋高校	食品加工コース教諭	×
所紀光	宇佐うるめ協議会	会長	○
谷岡美佐	土佐市商工会宇佐支部女性部	部長	○
中澤雅章	土佐市商工会観光委員会	副委員長	○
吉永晃生	宇佐鰹節水産加工業協同組合	理事	○
浜田太蔵	土佐市商工会宇佐支部	事務長	○
斉藤俊幸	アドバイザー	イング総合計画(株)代表取締役	○
合田尚洋	土佐市役所産業経済課	課長補佐	○
益田英夫	益田電器	代表	○

- ・ 益田電器を事業者として選定し、仕様、見積りチェック、建設スケジュール確認

- ・ 店名は「宇佐もんや」に決定
- ・ 営業許可は土佐市商工会宇佐支部長である浜田和夫で申請、来年度企業組合として法人化することを確認
- ・ オープンは12月1日に除幕式は12月7日に決定
- ・ 事業の詳細を商工会女性部に説明して欲しい。(谷岡)

宇佐もんや実施計画（第2回企画検討会を受け商工会婦人部と27日に協議）

### 第3回宇佐うるめイワシ直売所企画検討会

■日時；平成21年12月3日（木）午後18時～20時

■場所；宇佐くろしおセンター

■参加者；

氏名	所属	役職	出欠
浜田和夫	土佐市商工会宇佐支部	支部長	○
竹中治人	高知海洋高校	食品加工コース教諭	×
所紀光	宇佐うるめ協議会	会長	○
谷岡美佐	土佐市商工会宇佐支部女性部	部長	○
中澤雅章	土佐市商工会観光委員会	副委員長	○
吉永晃生	宇佐鰹節水産加工業協同組合	理事	○
浜田太蔵	土佐市商工会宇佐支部	事務長	○
斉藤俊幸	アドバイザー	イング総合計画(株)代表取締役	○
合田尚洋	土佐市役所産業経済課	課長補佐	○
益田英夫	益田電器	代表	○

- ・ 運営手順、不都合なポイントについて協議。
- ・ 借りているなべ、釜等の什器を返却し、新たに購入することを決定
- ・ 現在事業推進している商工会宇佐支部から来年度中に企業組合へ新設移行し運営にあたる。
- ・ 高知海洋高校卒業生の緊急雇用等での受入協議

2月5日（金）高知中小企業団体中央会田所部長を訪問し企業組合設立に向けた指導の依頼を実施。（浜口（宇佐うるめプロジェクト協議会）、合田、斉藤）

#### 第4回宇佐うるめイワシ直売所企画検討会

■日時；平成22年2月13日（土）午後14時～16時

■場所；宇佐もんや

■参加者；

氏名	所属	役職	出欠
浜田和大	土佐市商工会宇佐支部	支部長	○
竹中治人	高知海洋高校	食品加工コース教諭	×
所紀光	宇佐うるめ協議会	会長	○
谷岡美佐	土佐市商工会宇佐支部女性部	部長	○
中澤雅章	土佐市商工会観光委員会	副委員長	×
吉永晃生	宇佐鰹節水産加工業協同組合	理事	×
浜田太蔵	土佐市商工会宇佐支部	事務長	×
斉藤俊幸	アドバイザー	イング総合計画(株)代表取締役	×
合田尚洋	土佐市役所産業経済課	課長補佐	○
益田英夫	益田電器	代表	○
吉武祐一	事業事務局	ランドブレイン代表取締役	○

- ・ 今後の自立へ向けた協議
- ・ 市外取引業者への販路が徐々に拡大している。
- ・ 将来的に漁業従事者の担い手を育成する必要がある。



(写真) 企画検討会



## 第2節 現地指導調査、コーディネーター活動の実施報告

### 1) 現地指導調査の報告

実施期日 11月25日（火）～12月7日（月）

場所 宇佐もんや

出席者 商工会女性部（7名）、宇佐うるめプロジェクト協議会（所、浜口）、商工会宇佐支部（浜田和、浜田太）

主な指導内容

宇佐もんや設立へ向けた指導内容を記すと以下の通りである。

#### 1. 販売品目

- (1) 鮮魚（魚の仕入れはうるめイワシプロジェクト協議会より漁協原価で行う、鮮魚の販売はマルのままで冷蔵ショーケースに置き、その場で顧客に応じ3枚下し、刺身での提供）
- (2) 外部製造加工品（吉永鯉節店、高見商店等の商品、海洋高校商品の陳列販売）
- (3) 調理商品（うるめフライ、うるめ漬け丼、てんぷら、刺身、うるめツミレ汁等）
- (4) 外販用商品（うるめイワシ3枚下し真空冷凍パック）
- (5) 酒類（料飲用）

#### 2. 販売価格

表 2-1 販売価格

販売品目	販売価格（円/単位）	備考
鮮魚		時価×20%にてグラム売り 顧客に応じ、マル、3枚下し、刺身での提供
外部製造加工品		20%手数料
うるめフライ	大 100 円/枚 中 80 円/枚 小 50 円/枚	
うるめ漬け丼	400 円/杯	
蒲焼丼	保留	スタート時販売せず
てんぷら	保留	製造機械が海洋高校より搬入されてから検討
刺身	時価	
うるめツミレ汁	100 円/杯	
うるめイワシ3枚下し真空冷凍パック	保留	協議会が卸、販売価格を決定
うるめイワシすり身真空冷凍パック	保留	協議会が卸、販売価格を決定
まぐろすり身パック	500 円/パック	430 円/パック
ビール	400 円/杯	ジョッキ酒屋用意

3. 従業員体制
    - ・ 1日3名1組（外販用加工商品の製造を行いながら、顧客対応）
    - ・ 時給700円（22年3月末まで、その後、商工会女性部で利益配分協議）
    - ・ 宇佐うるめプロジェクト協議会事務局が常駐できるようなPC環境整備（うるめ協議会経費支払い）
    - ・ 電話（ファックス兼用）を整備（商工会宇佐支部経費支払い）
  4. 営業日、営業時間
    - ・ 月、水、土の3日間
    - ・ 午前9時～午後3時
  5. 家賃
    - ・ 6万円/月（22年3月末まで）
    - ・ 22年4月より商工会宇佐支部と家主との間で家賃協議
  6. 什器備品
    - ・ くろしおセンターより貸与（谷岡さんが選定し31日までに搬入）
    - ・ 貸与品目（炊飯器；2升炊、なべ、平鍋、やかん、おたま、まな板、調味料入れ、皿、どんぶり、計量カップ）
    - ・ 机、椅子（水産課より貸与、合田）、防水テーブルクロスは購入（谷岡）
    - ・ 購入品目（蓋付ゴミ箱、冷蔵庫用温度計、バケツ：浜口）
    - ・ 冷蔵庫、炭焼きセット、小型コンロ（青年部より貸与；所）
    - ・ 計量ばかり（斉藤）
  7. 資材（所、谷岡が業者呼び購入）
    - ・ 紙パック、割り箸、ゴミ袋（40リットル）、タオル、マジック、ビニール袋、レジ袋
    - ・ 作業着、帽子、長靴は製造所作業者各自が購入、用意
  8. 内装（斉藤）
    - ・ 海洋高校活動パネル、うるめイワシ活動パネル
  9. 会計
    - ・ 会計担当；益田和歌子さん（2時30分に売り上げ締り銀行に入金、日月販売額の記録、アルバイト時間表集計整理、所得税・法人事業税計算納税、家賃振込み、給料振込み、光熱費振込み、記帳、納税番号の登録）
- 記帳業務

物販、飲食、鮮魚に分ける

  1. 現金出納帳（科目入り）
  2. 預金出納帳
  3. 売掛帳（得意先ごとの掛けによる売上金額と回収金額と残高を記録）
  4. 買掛帳（仕入れ先ごとの買掛金の増減と残高を記録）
  5. 経費帳（仕入以外の必要経費を勘定科目ごとに作成）

- 6. 商品有高帳（商品種類ごと仕入（受入）・販売（払出）・残高を記録  
在庫管理）
- 7. 固定資産台帳

納品・請求書（ファイル保存）  
領収書（スクラップ等へ貼付）  
レジシート（営業記録ジャーナル）の保存

- ・ 小型金庫、電卓購入、黒板、時計（斉藤）
- ・ 宇佐もんや代表 浜田和太名での銀行口座開設（浜田和太）
- ・ 創業費（10万円）の出資集める（浜田太蔵）鮮魚、資材購入資金、光熱費支払いに  
充当

#### 10. 光熱費

- ・ 電気代、水道代、ガス代は販売利益を原資に充当する
- ・ 月収支赤字の場合、赤字補填は宇佐うるめプロジェクト協議会が行う

#### 11. 保険、契約書の作成

- ・ 営業許可費用の折半（商工会宇佐支部有志）
- ・ 火災保険加入（浜田和太）
- ・ レンタル契約書、賃貸契約書の作成（斉藤）、締結

#### 12. オープンセレモニー（除幕式）の開催

- ・ 12月7日正午より開始、約30分  
司会；宇佐うるめプロジェクト協議会 所紀光
- ①主催者あいさつ；土佐市商工会宇佐支部長 浜田和太
- ②来賓挨拶；土佐市長 板原啓文  
（その他来賓；三本市議会議長、黒木市議、浜田市議、上野宇佐漁協支所長、  
松崎宇佐町内会会長、森高知海洋高校校長）
- ③除幕
- ④乾杯挨拶；三本市議会議長
- ⑤うるめつみれ汁 200名分無料配布

#### 1. 事業開始スケジュール

- ・ 12月1日 高知県中央保健所現地検査
  - ・ 12月1日～6日 開始準備（女性部）
  - ・ 12月7日 除幕式
- #### 2. 新聞折込広告、イベント等
- ・ うるめ中鍋イベント（3回；15万円）、新聞折込広告（3回；18万円）予算あり、  
パンフレットチラシ作成してはどうか。
  - ・ 輸送費等の予算あり（5万円）、県内観光客呼んでみたらどうか。
- #### 3. その他
- ・ 海洋高校卒業予定者の就職（受入）について検討できないか。

## 2) コーディネーター活動の報告

居酒屋やスーパーマーケットを対象に、鮮魚、冷凍フィレ及び冷凍スリミの流通販路開拓に取り組み、現在下記の店舗等に販売を開始しました。

記

販売先地域等	屋 号	販売品目
東京都伊弉アルストラン	エノテカノリーオ、ヴィノリオ、ヴィノリオEST	鮮魚
広島県居酒屋	(株)夢笛かしわや一羽	鮮魚
兵庫県居酒屋	ダイニング龍馬、ひょうたん	冷凍フィレ 冷凍スリミ
高知市居酒屋等	とうふ家、辿る、座屋、葉山、思季亭、北前そば高田屋、花蝶庵、うめ丸、土佐料理たたき亭、草や、料亭 濱長、浪漫亭、柳憲	鮮魚 冷凍フィレ 冷凍スリミ
土佐市居酒屋等	太公望、がしら亭、玉杯、松尾、ボヌール、土佐倶楽部、中内、かにごく道、新漁丸、三陽荘、国民宿舎、帆竿	鮮魚 冷凍フィレ 冷凍スリミ
スーパーマーケット	サンプラザグループ、サニーマートグループ、サンシャイングループ	鮮魚 冷凍フィレ 冷凍スリミ

### ○課題

スーパーマーケットからの冷凍フィレ製品の注文が多く、手さばきでの作業では、今以上の注文に応じられない状況となった。

今後、フィレ加工を市内加工所に委託するか機械の購入を検討しなければならない。

## 第3節 店舗改装、広報活動の実施報告

### 1) 店舗改装の報告

内装工事を実施した。



## 2) 広報活動の報告

新聞記事、地元住民への周知のための原稿を作成し配布した。

### ①記者発表原稿

新鮮魚介類や水産加工品を販売する直売所オープン  
～高知海洋高校のまちなか研究室として活用も

土佐市商工会宇佐支部は農林水産省平成 21 年度地域流通モデル構築支援事業（商店街活性化タイプ）モデル実証事業の採択を受け、宇佐地区に新鮮魚介類及び水産加工品を製造販売する直売所「宇佐もんや」を 12 月 1 日にオープンする。

土佐市商工会宇佐支部女性部と宇佐うるめプロジェクト協議会等が中心となり来年度に事業主体となる企業組合を設立予定である。また、高知海洋高校のまちなか研究室として機能し、生徒が実習で作った商品の販売を行うとともに、うるめイワシの加工品等の配達基地として活用する予定である。

### ②土佐市商工会宇佐支部各位

宇佐支部長

浜田 和 大

土佐市はうるめイワシの直売所を設立すべく、商工会宇佐支部との協議に入り、農林水産省平成 21 年度地域流通モデル構築支援事業（商店街活性化タイプ）モデル実証事業の採択を受け、このたび宇佐地区に直売所を開設する運びとなりました。宇佐支部と高知海洋高校との共同店舗を目指し、地域の皆様と生徒とのふれあいの場を目指すとともにうるめイワシをはじめ宇佐漁港で水揚げされる新鮮な魚の加工を行い住民の皆様に親しまれる店舗運営を目指します。開店は 12 月 1 日、益田電気に隣接する空き店舗を活用して開設することになりましたのでここに報告いたします。なお、当面の運営主体は浜田和が行い、来年度有志の参加を得て企業組合を設立する予定です。

1. 直売所設置場所；益田電気隣接部（宇佐町宇佐）
2. 直売所名称；宇佐もんや、（高知海洋高校まちなか研究室 宇佐もんや）
3. 店舗オープン日；12 月 1 日
4. オープンイベント；12 月 7 日正午より除幕式及びうるめ中鍋ふるまい

## 第4節 事業結果の報告

### 1) 売り上げの分析

表 2-4-1 販売額

期 間	販売額 (円)		レジ通過者
12/1～12/7	95,400	基本営業日；月水土、 9:00～15:00	
12/8～12/14	102,700		
12/15～12/21	41,500		
12/22～12/30	169,500		
月 計	409,100	稼働日数 14 日間	951 人 (67 人/日)
1/9～1/15	57,800	初売り 1/9	
1/16～1/22	66,000		
1/23～1/31	83,000		
月 計	206,800	稼働日数 12 日間	544 人 (45 人/日)
2/1～2/7	84,200		
2/8～2/14	55,000		
2/15～2/21	47,700		
2/22～			
月 計	186,900	稼働日数 10 日間 (2/21 まで)	467 人 (46 人/日)
3 ヶ月間合計	802,800	稼働日数 36 日間、 1 日平均売上高 22,300 円	(54 人/日)

### 2) (その他の分析)

4月を目処に、商工会女性部員以外の専門経営者、販売員を商工会に雇用し、宇佐もんやの経営強化に努める。また、加工品（冷凍フィレ、すりみ等）製造は宇佐うるめプロジェクト協議会からの委託として、収益を上げる。鮮魚及び加工品販売は協議会が販路を拡大しているので、今後販売数が増える見込みである。これらのことを実践し、11月を目処に企業組合を設立する。

### 3) 事業目標について

宇佐における生鮮魚介類、水産加工品の入手できる拠点のひとつとして活動を自立させるため、収益の確保は欠かせない。水産加工品の製造は宇佐うるめプロジェクト協議会からの委託のため、商工会宇佐支部婦人部が中心となり受託生産とする。このため、事業が赤字となることはない。しかし、生鮮の直売やうるめ寿司の料飲サービスは人件費と売り上げに左右され、赤字の可能性も高い。4月より2名のふるさと雇用対策を受入れる予定であるが、この支援の見込まれる2年間で黒字化を目指す必要がある。25日間の営業で販売利益を50%と見込み、2名の給料が支払える30万円を確保するためには月60万円の売り上げが必要である。これは一日、24,000円を売り

上げることが必要であり、現在の販売額、22,000円をあと10%程度アップさせることが求められている。このため、夜間の料飲サービスを定期的実施するなど更なる営業努力が必要となる。

実施計画に示した効果測定の内容は以下の通りであり、その評価を付記する。

◆新たに食料品小売店をはじめようとする場合の目標設定

設定する目標指標と直近のその値 目標指標： <u>日売上高、真空パック売上高、練り物売上高、海洋高校商品売上高</u> 現況値 <u>なし</u> (平成21年9月15日現在)	モデル実証事業終了時における目標値 <u>目標値；日売上高20,000円</u> (平成22年2月28日現在)
--	---

日売上高はほぼ達成できた。

◆上記以外の目標（商店街来街者数）

設定する目標指標と直近のその値 目標指標： <u>商店街来街者数</u> 現況値 <u>50人/日</u> (平成21年9月1日現在)	モデル実証事業終了時における目標値 <u>目標値 60人/日</u> (平成22年2月28日現在)
---	--

店舗レジ通過者は54人であり当初想定よりやや少ない。平日営業により信頼ある店として成長していくことが望まれる。

◆上記以外の目標（高知海洋高校との協働数）

設定する目標指標と直近のその値 目標指標： <u>高知海洋高校との協働数</u> 現況値 <u>1回</u> (平成21年9月1日現在)	モデル実証事業終了時における目標値 <u>目標値 3回</u> (平成21年2月28日現在)
--	---

インターンシップ受入全4回（8名）を実施し、高知海洋高校との協働数は達成できた。

◆上記以外の目標（観光イベント開催数）

設定する目標指標と直近のその値 目標指標： <u>観光イベント開催数</u> 現況値 <u>0回</u> (平成21年9月1日現在)	モデル実証事業終了時における目標値 <u>目標値 1回</u> (平成21年2月28日現在)
--	---

除幕式、かつおタタキ実演販売の計2回の観光イベントを開催し目標は達成できた。

### 第3章 今後の課題

#### 第1節 本事業の総括

- ・ 漁港背後地の食の拠点形成ができた。これにより安定的に生鮮魚類や水産加工品を入手することが可能となった。
- ・ 高知海洋高校との連携強化ができたこと大きい成果である。インターンシップの受入や卒業生の受入も進めることとなった。人気が高い海洋高校の商品が買える場所として有名になりつつある。
- ・ 漁港の裏にあるが今まで観光施設は少なかった。観光拠点のひとつとして機能できれば、地域ポテンシャルアップに機能できるのではないか。

#### 第2節 今後の課題

- ・ 一日の販売額が少なく自立運営は厳しい状況にある。土佐市等の支援を受けながら継続的な運営が可能となるよう自立を模索することが必要である。
- ・

### 第4章 その他

- ・ 高知海洋高校インターンシップ受入を実施

1/20、1/27、2/10、2/17、各2名の学生をインターンシップとして受け入れ、同時に海洋高校で製造したウルメのさつま揚げ、ツナ唐揚げも商品としてテスト販売する。



(資料)

店頭でカツオたたきイベント



工事が進む宇佐もんや



オープンセレモニー



